



各学年トピック

4月の始業式、入学式からはじまり、新入生歓迎会、全国学力学習状況調査、参観日、修学旅行……そしてゴールデンウィーク……次から次へと行事、イベントが続いてきた春です。今週に入り、そういった動きから、少しアクセルダウンし、授業中心の少し落ち着いた日々が続いています。

さて、今年度から紙媒体で学年ごとに発行していた学年通信について、情報発信の一元化を進めるため、本通信で各学年の様子を「各学年トピック」としてお伝えします。また、フェイスブックでは、動画を中心に情報を発信していますので、あわせてご覧下さい(右上QRコード参照)。

【1年生(学び)】

3年間の見通しをたてた上で、この1年で学ぶ「総合的な学習の時間」のについて、確認しました。テーマは「浅江の魅力再発見～浅江探求プロジェクト～」です。「自然と親しむ・良さを感じる」を皮切りに、浅江にある自然の良さを見つめ直すとともに課題を発見し、浅江の未来について考えていく学習です。見通しをもって学ぶことは、大切なことだと改めて感じました。



【2年生(生活)】

教室のイスの脚の下の部分に、テニスボールをつけました。生徒に「なぜイスにテニスボールをつけたの?」と尋ねると、「イスを動かすときの音は結構大きくて、騒音が苦手な友だちもいるから、その友だちに配慮するために(^)」、「2Fで学習している3年生(2年生の教室は3Fです)が少しでも集中して授業をうけられるように!!」と答えていました。周囲にやさしい2年生です。

【3年生(学び)】

全国学力学習状況調査の英語で、初めてオンライン方式の調査＝「英語話すこと調査」を実施しました。紙媒体の解答用紙もなく、すべてデジタルです。子どもたちは、日々の授業等でタブレットを頻繁に活用しているので、この度の調査に対してもスムーズに対応できていました。浅江中はタブレット活動では、他校に比べて一歩も二歩もリードしています。

国は、2025年度以降、英語以外の教科でもタブレット端末を活用した調査を実施していく計画です。



学校では、授業以外にもさまざまな取組、活動が日々展開されています。そういった中、落ち着いた生活を送るための土台となっているのが、生徒会活動・委員会活動です。現在、生徒会役員、専門委員長・副委員長が、目的意識をもってさまざまな場面で積極的に活動しています。また、その想いに応えるかのように、各学級の委員が活動していることで、落ち着いた学校生活が実現しています。

生徒会役員、専門委員長等は12月まで、各学級の委員は10月までの間、しっかり学校を牽引してってくれると思います。